ことばのおたより

一般財団法人　三宅医学研究所
てふてふ
令和５年７月

　蒸し暑く、汗ばむ日が続いています。本格的な夏もすぐそこ。生活のリズムを整え、今年の夏も元気に過ごしたいですね。

　７月の行事の１つである七夕。短冊や網飾りなど、色鮮やかな七夕飾りからも、夏の訪れを感じます。飾りの由来をてふてふの先生から教えてもらい、１つ１つの飾りに願いがこめられていることに驚きました。子どもたちの可愛い願い事も叶いますように☆彡

　ことばの教室も夏らしく、見た目も涼やかな「スライム」 と「寒天」を使って感触遊びを計画しています。食紅で色をつけているため、汚れても良い洋服の準備をお願いします。

感触遊びとは？

　感触遊びとは、子どもが様々な素材に触れ、感覚を磨くことを目的とした遊びです。

　感覚には触覚以外にも、視覚、聴覚、味覚、嗅覚、ブランコや滑り台などで遊ぶ際に自分の身体の傾きや加速度を感じる前庭覚などがあります。感覚は生まれつき備わっているものですが、様々な刺激を受けることで感覚に気づき、感覚を受け入れることができるようになります。

　感触遊びでは、直接手で触れ、「ツルツル」「ベタベタ」「冷たい」などの感触を感じながら、握ったり、ちぎったりと指先を使った遊びも同時に楽しむことができます。感覚や、運動・姿勢は言葉を話すことの土台になると言われています。

　ご自宅でも石鹸の泡など身近なものを使って、親子で触れ、「ふわふわだね」など視線を合わせて言葉を聞かせてあげてくださいね。